

# 北海道における TM Rセンターの現状と課題

天北農業試験場

技術普及部

三浦 康雄

# 北海道におけるTMRセンター

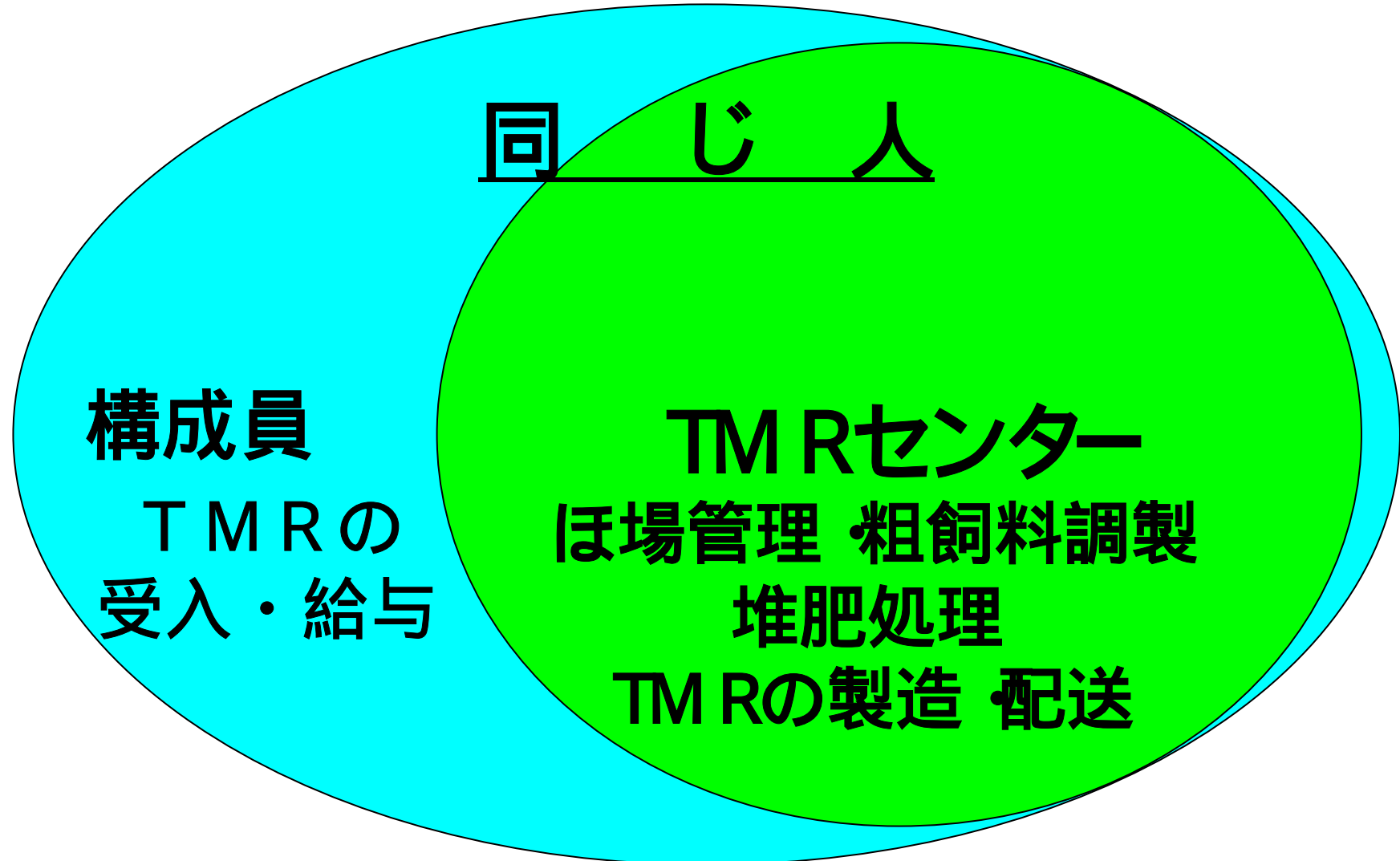
会社名	設立	構成員	既TMR	粗飼料 (内口)	経産頭数	供給
(有)ミクセス (恵庭)	7. 10	5戸 (6)				8.
(有)オコッペフィードサービス (興部)	11. 6. 1	9戸 (6)	1戸 (F)	510ha (45)	720頭	11. 6. 1
(有)デイリーサポート別海	13. 7.16	7戸	2戸 (F.1)	400ha (0)	500頭	14. 6
(有)デイリーサポート土別	13.11.20	23戸	1戸 (FB)	1,315ha (324)	1,550頭	15. 8. 1
(有)デリバリーフィードセン ター名寄(DFC)	14.10. 1	6戸 (5)	1戸 (F)	460ha (100)	460頭	15. 7. 7
(有)中島デイリースポ ート(大樹)	15. 1.22	6戸	0戸	310ha (50)	400頭	15. 7.11
(農)東もことTMR	15. 3.31	6戸	1戸 (F)	290ha (32)	400頭	15. 8. 1
(有)CFT (カウフードトイカン) (幌延)	15. 12.18	9戸	0戸	586ha ( 0)	585頭	16. 8. 1

\*構成員数の( )は設立当初の構成員数

# 設立の背景

- 労働力の限界 (規模拡大指向)
- 適期収穫、良質粗飼料確保の限界
- 計画的草地更新ができなくなった
- 後継者問題 (高齢化)
- 糞尿問題 (適期散布、有効活用)
- コントラクターの限界 (収穫時期)
- 飼養管理の限界 (2番草の利用)
- 機械投資の負担増加 (コスト低減)

# TM Rセンターと構成員の 関係と役割



# 取り組み内容と期待される効果（会社）

## ・飼料畑管理

- ・ほ場の集約と一元管理
- ・堆肥の有効活用
- ・肥料などの一元仕入れ

## ・粗飼料収穫

- ・機械の効率所有
- ・高性能機械の導入

## ・飼料給与

- ・購入飼料の一元仕入れ
- ・飼料品質の安定化
- ・TMRの給与

## ・コスト削減

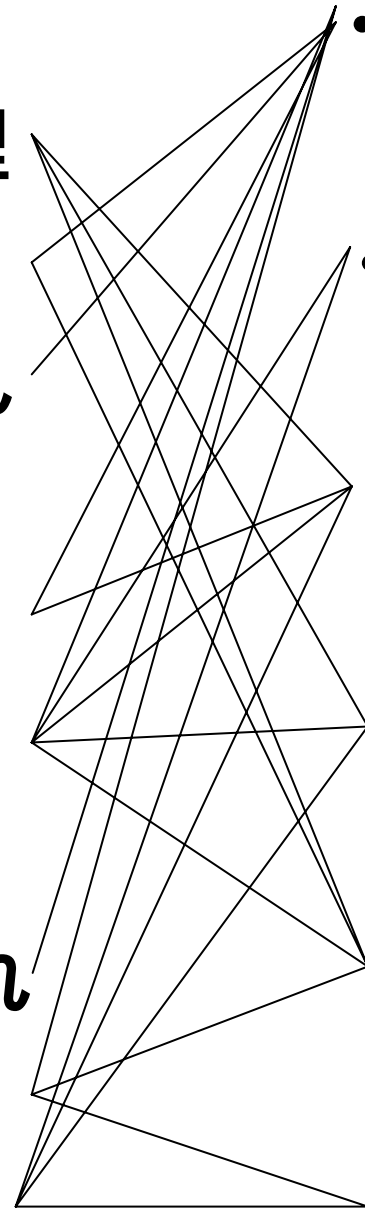
## ・労働力確保

## ・労働負担軽減

## ・作業効率向上

## ・粗飼料品質向上

## ・乳量 乳成分向上



# 期待される効果（構成員）

- 経営の安定化、経営改善
- 労働の平準化（季節的変動の縮小）
- 飼養管理への労働集中
- 機械関連費用の大幅減  
（償却費・管理費・修理費・燃料費）
- 規模拡大
- 飼養技術の向上と乳量アップ
- 労働の質の変化（軽労働化）
- 後継者が継ぎやすい環境
- 女性の外作業解消

# TM Rセンターの運営形態

機能	雇用形態	
	内部	外部
飼料畑肥培管理	従業員～士別 出役～他のセンター	
粗飼料調製	従業員～士別 出役～他のセンター	農協コントラクタ～東藻琴 (細切サレージのみ)
堆肥処理	従業員～士別 出役～他のセンター	
TM R製造	従業員～他のセンター 出役～幌延	飼料運送会社～東藻琴
TM R配送	従業員～別海・興部 出役～幌延・大樹	生乳運送会社～士別・名寄 飼料運送会社～東藻琴

# 雇用タイプの特徴

## 法人として雇用するタイプ

従業員の新集をしなければならぬ

労務管理（給与、休日、病休対応）

作業熟練度高く維持できる（技術伝達必要）

解雇が難しい（雇用契約締結）

労働費の変動（給与の上昇）



# 雇用タイプの特徴

## 業者に任せるタイプ

・請負額の設定 (単価交渉できる)

・作業員の変動大きい

・作業熟練度が高まりづらい

・募集や労務管理不要

・労働の質の向上に対し要望できる

(技術チェック機能が必要)

# 資金調達

・補助事業利用センター

名寄・士別・別海

(飼料単価低くできる・事業年度長くなる)

・融資制度利用センター

恵庭・東藻琴・幌延

(飼料単価高くなる・事業取り組みが早い)

・両制度利用センター

興部

(両者の中間)

# 資金調達時の担保

会社の施設・機械など	構成員に付加
士別・東藻琴 幌延	興部・別海 大樹・名寄
構成員の投資に 影響しない	構成員の担保枠に 影響する

# 牧草の収穫調製作業



# 飼料調整庫



# サイレージ取りだしタイプ



テレハンドラー



士別・東藻琴  
別海・大樹



ローテイング  
カッター

興部・名寄・幌延

# ミキサータイプ(その1)

オーガタイプ

バーチカルタイプ



士別・別海  
東藻琴・恵庭



興部・名寄  
大樹・幌延

# ミキサータイプ(その2)

自走タイプ

けん引タイプ



士別・興部・名寄  
東藻琴・幌延



別海・大樹  
東藻琴・恵庭



# 荷姿及び配送

バラ～他のセンター



梱包～土別



# 受け入れ施設



# 給餌



# TM Rメニュー

会社設定タイプ	構成員別設定タイプ
別海・士別 東藻琴・幌延 大樹・恵庭	興部・名寄
農場をEニターし 会社が設定	個々の判断で 設定

# スタート後の反応（成果）

- 規模拡大に踏み切れた
- 出荷乳量の大幅増
- 飼養管理への労働集中化できた
- 労働時間減で楽になった
- 高齢者経営の継続意欲が出た
- 繁殖成績が良くなった
- 構成員の経営意識が向上した
- 飼養管理改善への意欲が出てきた
- 後継者が戻ってきた

# 今後の課題

・足並みの統一～後戻りできない、バックギアはない、落ちこぼれは命取り

取り組み前の十分な論議（数年の）参加目的明確化や現状コストとの比較 試算が必要  
利用するだけという人は入れない

・人格の明確化～会社・構成員の立場で物をいう  
良いえさの要求、安くて良いえさの供給追求  
第三者から見れば両者は別人格

・外部雇用拡大～男性の乳牛管理への労働集中  
女性の外労働は低減したが、ほ場管理出役  
時の畜舎労働は多く(きつく)なった

# 今後の課題

・乳量レベルのアップ～ゆとりと所得向上

畜舎管理に労働集中できるシステムになる  
ほど、飼料コストは高くなる

・粗飼料生産基盤の確立

・地域維持 振興をにらんだ展開～地域自治維持

・新規事業の展開～員外粗飼料調製請負、  
飼料販売、育成預託部門の取組み

・技術者の育成又は雇用～内部技術力の向上  
立ち上げ当初は仕方ないが

・バイオセキュリティの整備～センター、農場の  
飼料の安全と安定供給の確保